

2025年度 地域日本語教室 「い～な」の取り組み

2026年3月
伊那市地域創造課集落支援員
多文化共生推進
宮ヶ迫ナンシー理沙

長野県地域日本語教育の体制づくり事業の一環として、長野県と連携し、伊那市において人材連携型の日本語教室「い～な」を企画・運営しています。昨年度の準備期間を経て、令和7年度より開講しました。「伊那市を知ろう」をテーマに、日常生活に必要な日本語を学びながら、外国人住民が地域で安心して暮らすためのサポートを行っています。地域のひとたちと出会い、交流が生まれる場となることをめざしています。

生活に必要な日本語を
べんぎょうします

にほんご教室
「い～な」

参加費 ¥0

会場 伊那市立図書館、alliaほか

人数 20人（18才以上）

期間 6月28日～9月6日
毎週 土ようび
10:00～11:30
(全10回)

もうしこみ する
6月13日
まで！

伊那市地域創造課 多文化共生推進員
宮ヶ迫ナンシー理沙
ina.multicultural.cs@gmail.com

生活に必要な日本語を
べんぎょうします

にほんご教室
「い～な」

参加費 ¥0

会場 西箕輪公民館 / inadani sees

人数 20人（18才以上）

期間 10月11日～12月13日
毎週 土ようび
10:00～11:30
(全10回)

もうしこみ する
6月13日
まで！

伊那市地域創造課 多文化共生推進員
宮ヶ迫ナンシー理沙
ina.multicultural.cs@gmail.com

【期間・場所】

(全20回)

令和7年6月28日～9月6日
毎週土曜日 10時から11時30分
伊那市立図書館およびallia

令和7年10月11日～12月13日
毎週土曜日 10時から11時30分
西箕輪公民館、inadani sees

【内容・教材】

『いろどり』（国際交流基金）初級（A1からA2程度）対象。

伊那市の情報や生活情報を学習内容に組み込み、

実践・体験を取り入れた講座を実施。

- ・伊那市の防災
- ・バスの乗り方
- ・図書館の使い方
- ・交通ルール
- ・伊那まつり
- ・みはらしファーム遠足など

【学習者】

延べ117名（前期93名、後期24名、平均6名 / 出身国：アメリカ、インドネシア、
バングラデシュ、フィリピン、ブラジル、ベトナムなど）

【スタッフ・協力者】

日本語教師3名（長野県より派遣）、日本語交流員13名（長野県より派遣）、その他
ボランティアのみなさん（1回あたり：教師1名、交流員とボランティアが5～6名）

【教室の様子】



初回は19人と多くの方が参加しました。



グループごとにたくさん話します。地域の高校生も参加しました。



警察署の方に交通安全をテーマにお話をいただきました



多くの学習者が初めて図書館を利用したとのことでした



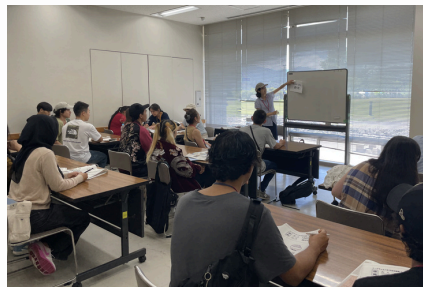
市街地で開催した前期「い〜な」の最終日



市役所危機管理課の方には伊那地域で起こる災害についてお話をいただきました



秋にみはらしファームのりんご狩りへ行きました



市内バスにのる前にバス停の名前を確認



西箕輪エリアで開催した後期「い〜な」の最終日

【実施を通して見えてきたこと】

- これまで日本語教室の開催がなかった西箕輪エリアにおいても実施を試みる事ができ、近隣企業との連携のあり方や、より具体的なニーズ把握、広報の課題について考える機会となった。
- 連続性のある内容で実施したものの、毎週参加できる人は多くない状況があった。
- 学習者と地域の人が出会い、「顔の見える関係づくり」に向けた一歩となった。
- 試験対策などのニーズをどのように捉えるか、また地域づくりの観点から自分たちの役割や方向性について考え、話し合う機会となった。

【次年度に向けた取り組み】

- 地域の人との出会いや交流が生まれる場づくりの継続
- ボランティアを対象とした勉強会の実施の検討
- 企業や関係機関と連携しながら、学習者が継続して通える仕組みづくりの検討
- より多くの人に届く情報発信の工夫